に於て今や納州波の津々浦々 に於て今や納州波の津々浦々 に於て今や納州波の津々浦々

何になつて居るやら成は又可の人々は評価維役の現況が四の人々は評価維役の現況が四の人々は評価維役の現況が四の人をあると信じます

たにも申しました通り内地から舞出になった人々の御話なご永りますご編別値の経済を 明中国るご言ふ様な事を聞きましたのでこれ等の不認識を ましたのでこれ等の不認識を ましたのでこれ等の不認識を

| 首上訳版であります

性 8 日印書館に人絹を加へるさせ何寺かを料定するのが得策なり言意見一致し、大阪側でなりで意見一致し、大阪側の情報を見上せしめ政府というできる。

「あゝ、こゝに來ると終夢寺物器」を思ひ出すわね」

そんなことを観きか

な、額いて張智業部總長は 議州に於ける職業、林業。 農林、牧畜、漁業の各資源 を說明、其の閉酸には殆ご を説明、其の閉酸には殆ご を説明、其の閉酸には殆ご

ねばな62

テプ博士は省政府教育顧問に更にヒリフピン大學教授ペン

リフピン大地教授ペン

顧獲し、幕僚プルニアクネル氏

派された大便。陽東長官、軍司郡に一日の長ある日本から分野に進まねばならぬ。經濟。軍

「大連十六日食物油」既報日 そして領洲に於ける地域 は、日領經濟統制は先づ 日 は、日領經濟統制は先づ 日 は、日領經濟統制は先づ 日 は、日領經濟統制の機構 こいよ二つの見即から研究せ こいよ二つの見即から研究せ の生存が保障され日報。 でいよ二つの見即から研究せ の生存が保障され日報。 の生存が保障され日報。 でいるの、根本方針こして 對外的に發展するさい。 は、日頃經濟上の有無を通せ を目標に進まればなら を基調。

をして隣洲に於ける經濟組織は利金が偏重せず。國民全般の利金を基調さし。 取時、平時に於ける観察國民全般 の生存が保障され日環經濟か の生存が保障され日環經濟か

曜

設の現況繁

陸軍一等主計

上げるこさに致します 上げるこさに致します

正より綿業會舘に選事會を開布人絹織物輸出組合は十六日

額制に於ける經濟の骨幹を形 地がお菱刈大野の系統を以て 終ける菱刈大野の系統を以て

の音韻で決定するご云ふ有様 であります であります に関し何事にても不明なる事 に関し何事にても不明なる事 でありまするならば関東軍特

建設途上にある事態

施財政方面から中とけますさ 活に最も密接なる関係かる金

各種印刷を製本

即小賣北原紙店

100円

では無からうさ思ひます

の現况 の現況 の現況 であります であります

金)

滿洲經濟建

(四)

は関東軍特務部に関けさ申付が若し事實さするならば夫ればり解らね向もあるそうです。

事業でありまして此の機會に若干御説明を申上け以て如何に補洲の出先官權が中欄になり如何に神速なる速度もて而も斯くも短期間に多くの仕事を仕上けたかを御紹介するさきよ意味に於きましても個めて必要な事ご信ずるのであり

輸出組合で 大阪綿布人絹

と納めるやうにいつたが、京子

對策を協議

では出來の議園は涌州に於ける では出來の議園は通州に於ける では出來の議園と見むを得な かつたもので、今日は全然 がであるこれは從來の議別 がであるこれは《本語》 がである。 がでなる。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がでなる。 がである。 がでなる。 がである。 がである。 がである。 がでなる。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。 がでな。

旨を述べ、對來稅制改革庶 信幣價値の安定は成功せる

實業懇談會

に於ける

ツトラー

小磯參謀長講演大要

の使命」なる関下に現在世は「B隣評例プロックミ頭

経濟提携の要を强調 日滿實業懇談會第二日-

要なものだから日本人が資源の調査開設計畫し参加したの實行のために日本の人材で資本の活動を希望した次に照財政部總長の代理さして星野總務司長は 民金融機能の設置等に努力 するさ述べたが、之に對し 民金融機能の設置等に努力

確計詞の財政狀態につき國 民の負擔を増加せず借入金 民の負擔を増加せず借入金 民の負擔を増加せず借入金 しない方針なる旨を説明し 中年度の實行豫算は一千萬 園の收入増加を來すの好成 少憩の後日下隣東顧内務部長 艦み將來日備經濟の養達を 棚に於ける重要なる地位に 現の脈態を説明し、其の備

いる開會議を終り午後より秘斯くて別項決議案の採決をな 政力針を明にした 米國福建省に

紫中、日本は漏粉の産業で日 町工業に就いても建設又は立 の都市建設。 農林業。 泉、奉天、ハルビン京、奉天、ハルビン 恋日上の成果~果けたが動業

銀器 中谷時計店

ランブや麻・棺が持ち出されて、温数通つたが、そこではもうすぐにト

外科、性病科

同仁

原下を破つて、二階の魔い座魁にすぐにどやししと横になってゐる

始められた。が、間もなくみんな

動かせ口ものだからすておけて云ふものさあるが、何れかったに属するのは不適霊で中であるが、大間違だ、日本資本の活動は数迎する處で本の流動なが、大間違だ、日本資本の活動は数迎する處で 本の場の宿 (七) 本の時にはない。 を開めたので、第千も属于もよれに対込まれたやうに心を稲ませれに対込まれたやうに心を稲ませれに対込まれたやうに心を稲ませれに対込まれたやうに心を稲ませ

九十

H

禁無斷上映上演

(高根秀浩畵)

崖

洒

土を砕く

H

小磯參謀長

みんなは草の際態に配んでか

たっ天城感も冷たかった。

みんなは薬屋の別班に着くと、

要さんが一人乗ってゐるだけだつ

車で歸任した 中で歸任した に残ってあるので、を設ししまりに残ってあるので、を設さしまり、 に残ってあるので、を設さしまり に残ってあるので、を設さしまり 「おえ、松本さん……。」は今う遊びに来たつて……。 宝は今 がに来いといつて誘った。

で大調系の勢かは經濟的方 で表のが一方比島に於ける小 で大調系の勢かは經濟的方 で業その他商業各部門の等勢 であるが一方比島に於ける小 で表のが一方比島に於ける小 で表のが一方比島に於ける小 で表のが一方比島に於ける小 で表のが一方比島に終する福建 着々經濟的勢力扶植 太大を聴かせられるつて認だな



語覆し、幕僚プルニックネル氏は車外に敵しく投げ リア、パバリヤ慰境地方を自動車で巡視中十五日と リア、パバリヤ慰境地方を自動車で巡視中十五日と カ、ヒットラー首相の持派車に酸く一行の自動車は たがヒットラー首相の搭派車に酸く一行の自動車は たがヒットラー首相の搭派車に酸く一行の自動車は たがヒットラー首相の搭派車に酸く一行の自動車は 更に同行のヒットラー氏の姪並びに妹も貧傷した出され片腕を骨折、重態である 身を以て危く避難

那人中の大半は福建省出身で 福建省さ比島の関係は漸次密 いや、今日は趣太夫はやりませいや、今日は趣太夫はやりませ 女問志でやりませうよ」

長野 商會

御豐

用の

は

第二は程常なんだがな……」 第二は程常なんだがな……」 一人はそんな謎をしながら、発 に立つて坂路を降つて行つた。そ に立つて坂路を降つて行つた。そ に立つて坂路を降つて行った。そ と歌子とは郵歌跳はれて が過ぎて、湯の香のむつと鼻を剛 り過ぎて、湯の香のむつと鼻を剛 り過ぎて、湯の香のむつと鼻を剛 の能を辿るとみんなは虚 のではない。 ることになつてゐるんです』 「あゝ、満元の方がまだ肺かるか も知れないさ。何時だか山根さん のとこの微塵會で聞いた「合邦」に 下の球場の方へ出懸けて行った。 はまたどや 一般子野を降りて陰 先づ最初後程と香山とが一ゲエ がでいまない。 「ほんとにあたし強もみんな駄目 明子だった。 配子が聴暗つてゐると、除子も 時計の御用は

を できます。 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さんと 原子さん る、女性はお腹さんだの器ですぜっ の差で敗けてしまつた。 東三条通三八謝金館南野師範一西田方山



夏物大安賣出し

間のだっち

横切を差がて



上花國 吳產





黨 营 朋 香三一九二話電 町岡富區川 深市京東 at.



科兒小

貸家有入船町一電四八二八番 不動產電話職

はいだから報合自動車が一概なつて来 した足取で歩いて行った。大仁の があり、大仁の はなりに対いて行った。大仁の

せないと見えて、土地のものらしいっそたが、まるで汽車から降りる人が

村面談 畑三七六六番 川井物産内 赤 津 女給入用 女給入用

> 後 往

(日曜祭日休診)

电話二九六一番

日見2百音遊帰・一名募集年齢十七八歳希望者本人来議あれ 小 倉 醫 院 **造銀** 高價買入

診療(至年後五時)日際祭日午前中

富士町二 保話二六〇六番

うつてことになってるるんか

『あたし歌目だわ。我なんか笑け

階下の球場に行って、球を突から

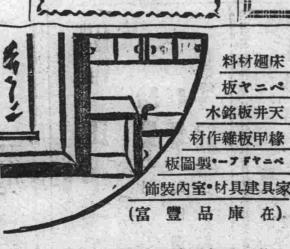
注版第 各種製本專門 三省堂製本所 三省堂製本所 東二條頭の世五

海へ!!

山八!!

御用意は弊店で

ラ煙パト イロケブン タース種ク 初京日本橋通り 新荷着 章本, 五人香行





親裁

海軍大演習の火蓋を切る 八丈島防護團組織

敵艦艇を逸早く發見し有效なる報告をなしたのことなる故島民は自發的に防護團を組織、演習に参加し、始され、未明には兩軍の局部的衝突をみたり、八丈島は海上はせられたが、御親裁の下に青赤兩軍對抗演習は今朝零時開はせられたが、御親裁の下に青赤兩軍對抗演習は今朝零時開はせられたが、御親裁の下に青赤兩軍對抗演習は今朝零時開は世島れたが、御親裁の下に青赤兩軍對抗演習は一次の一次の一次を表示した。

何召艦比叡 路南へ向

拝察するだに畏多き 大元帥陛下の御統裁

機比叡は第三脇逐隊の四脇逐 を利したが、大元帥陛下の御 港したが、大元帥陛下の御 港したが、大元帥陛下には海軍大演習 大元帥陛下には海軍大演習 を親しく御統裁あらせられ るこさは真に畏多く興召艦 の位置等を攻防兩軍に知せ る加きはその兩軍の間に位 る加きはその兩軍の間に位 る加きはその兩軍の間に位 る加きはその兩軍の間に位 親6壁火影なき狭隘なる船 家又は上甲板を手探りに統 をはざる御苦心を拜し又接 をはざる御苦心を拜し又接 をはざる御苦心を拜し又接 をはざる御苦心を拜し又接 幻出没、作戦の妙技を最輝敬感なる裝置の下に種々電物感なる裝置の下に種々電の無線戦信の如きも極めて 御機嫌麗しく

いき観で居り大体をの如き

鈴木總裁の

意見を聞いた上善處する

齋藤首相の肚

でにあるであるうで 体化をみるであるうで 関係れ

院さしては寳驤首相が會談。 はからはちがらればない。 貴族

不禰を抱くもの多く一般に

無用の食見で関られてゐる

上演習を御統裁遊ばされ卿機始め幹部員の奏上を御聴取の 意向を爲してゐる。即ち 協山女相が如何なる目的で この會見を斡旋したか、理 解に苦しむ、無任所大臣問 解は立さなつたのは順者の 策樹立さなつたのは順者の

対は蘇聯側が他く迄否走してたるアディ船長の選法行為弾性の場には全力を集けて蘇聯門を成立して行く方針である。に内迫して行く方針である。 得ずに終つたのであるが領別 開に當つても北磯共同経營の 具精神に則したる當然の主張 範側は來る十八日金曜日の再

を企闘するさ言つた調子であいつて翻事の不自然なる選組 して護労的態度を示す如く さる等の不遜の傾向があるので、 目下備刑財制は監査局及で、 目下備刑財制は監査局及

明の誠意の有無如何によつて これに對す これに對す きの如何によって決せられる の如何によって決せられる

合の最大懸案をさ この黒白を明確にし る決意が出來**てゐる**。之

要するに十八日よりの理事會

友部新警務局長

病氣で辭任

一應菱刈軍司令官より慰留

さころあつた、田代少將 現狀の説明を聴取、田代少

司令官は療養の上赴任するこ

日滿實業懇談會

用三日中に新京へ赴任の途に

分科會開催

支武官を招致陸相、田代前駐

就いて聴取 支那問題に

實業界代表者の交歓が行調館主催の晩餐會に出席

即少將を招致、英米借款問題即少將を招致、英米借款問題の内容等支那大使館附託官出で院

東大學研究系員。陸軍騎兵學でれ此度第三十八聯隊長。陸中佐、司令部附森少佐はそれ 高級副官篠原大佐、参謀職本し改々の功績を残した闘卓軍しなるの功績を残した闘卓軍 中佐離京す 篠原大佐藤本

はなる旨表明したさころ変刈 展地人事移動で開東職等務局 長さなつた友部泉賊氏は健康 長さなつた友部泉賊氏は健康

し上申されてば拓務省では

不懸談會の分科會は豫定地り(大選十六日慶威通)日禄智 橋本憲共司令官。各幕僚、日には小磯参謀長。多田少將。には小磯参謀長。多田少將。

日滿實業懇

政局には變調を來すまい

貴族院方面の観測

氏の會見

の現狀資源についての基礎、観東騰各高島の備洲坪 飛峽會第一第。一一兩日の☆ ~ ヶ柱成し外頃の判金 (選5)大連十七日観論選〕日備實 (て特惠監視を實施してプロッ 的説明によりせ 概念 題に於ける湖州曲。軍部、

左の如く正式決定を見た

果日講經費に融する観論を結配の貸の根本方針・ごうかさ 來日本語語プロック地 を得た日本 盾々絶對的に避けるさいふこ さは其だ 41、併しながら後来の警例 みても日湖南町の利益の子

本の炭坑を死地に入れること らこれを日本へ持つて來てエ よび天城で支那人勞働者の民 四日ポンペイ到着。シムラ曾以下四名で一行は來る九月十 保守高下院顧員、紡績組 集合聯合會長 ハマースンイ

に手交の訓令 シムラ會商代表

つた様なものもあるが、頑洲ある。勿論これさ及動に有無かる。勿論これさ及動に有無 行する訓令は旣に原案作成。「東京十七日醍迦湖」シムラ ・吉野商工参事官間に車光外務次官、黒田大 正式决定

れ、海軍特別大演習即銃裁遊長し錦鉄を太平洋にすこめら 標金

その日ノ

鉄任所・観覧協定近ごろの天

藤木

三乳 Ξ

電話三八六十二

明があつたが特に北鮮交通路電部、脳東線、流鐵雲局の説 るかに興味をもつ理由

港

これまた統制上断乎取締

心に協定さしは如何さ意見一表せる十三項の重要政策を中

即ち政友も協調態度を見

港崎の完成に依る大連さの 確立を求めてるる理由も夫々関する政府常島の根本方針の関係が日瀬經濟プロックに 日印英會商に

▲ 作本中佐(前國東軍参謀)十七日午前九時內地へ 全條原大佐(前國東軍高級副 官)同上 全統少佐(嗣東軍司令部附)同 上

先一<u>二</u>二十九當 月月月月月 限限限限限限限

新京市况 司 高 一 元

現引祭引物局局

的 四 来 不 東 東 東

人事往來

大阪三品

東鐘大

0440 0440 0104

短

加に同意 ハ日發館通」政府さ 七日午前八時四十分ハルビ ▲佐々木大佐(軍政部顧問)同

日午前八時歸京

同種大大

高 梁 四野 10 日本 10 日

招き継続するここさなつた。 商工省では二十一日商相官邸 総出業者の意向を知る要わり 對に過ぎず、人絹織物業者、密側の希望して居る人絹の協して居を加へる件を大体同意して語を加へる件を大体同意して語を加へる件を大体同意して ▲本磯中將(参謀長)同上
●安達中佐(琼區町令官)十七
●安達中佐(琼區町令官)十七 七時五十分歸京

佐(歩兵第〇〇〇降將(第〇〇國長)同上

范家屯區

范家屯派出所 新京地方事務所

电减出所至八月廿四日每日至午後四時期方事務所。自八月二十日每日午前十時期,與 元 月 日 第2場 明 與 元 十八 章 新京地方事務所及 元 十八 章 新京地方事務所及 元 十八 章

方委員可委員及豫備委員選舉人名海照左例

八十七日。

慰問團二十七名 范家屯區名

范家屯派州所至八月廿四日每日至午後四時所京地方事務所。自八月二十日每日自午前十時候。 豐 男 日 解源地方事務所及 荒 木 章中麟洲峨道埃式會社

シムラ會商の

▲ 数質縣教育或祭團十五名十七日午点二時二十五分來京吉林へ ニューニー・ は奉天へ ・は奉天へ ・は本天へ ・は本天へ ・は本天へ ・は本天へ

及歷書持多本人來談 外 交 員 急 募

大連新聞新京支社

日午前八時來京同八時三年

第英遊館業會開所會頭

御寫眞なら

三拍子揃った電氣寫眞館で!! 告野町二丁目(甘果太順廣) 安くて! 双美寫眞 美しい

經濟欄

海外經濟

新京吉野町一丁目十四番地

口齒科一般 診察時間 田 至午後六時(日曜祭日午後休診) 醫學士 田 醫學士 內 田 清 三 郎 中醫 電話三七〇九番 中

澤山着荷 笠京 致しました

文句が中に立つさる此の9見。 さ得して皆るが新くては鳩山 で親して皆るが新くては鳩山 目に至るまで協正せんさして

低質銀問題から大龍業を開給が未一爲二千名は停年制、最近大一爲二千名は停年制、最

入閣せしむべきださの意見さ を成立後鈴木。若槻南縁裁を を成立後鈴木。若槻南縁裁を

行條件に関して世上種々説を「東京十七日稜國谱」 公債務

號九十百八千三

本北戦皆辨は北戦理、監事 を自見日たる十六日午旬記者 を記したの如く語った

は理事會第一日より第四日のは理事會第一日より第四日のは理事會第一日より第四日の共同サイン、共同決議の大綱を以て合法的に他くを研解の實質折りません。

炭坑夫罷業

四回閉會請事積行されたに四国財會を宜せられるだ。前

何等

形なく頭が

第二日では増り主張して護ら

側は絶えず不即不螺の曖昧な

(8

督辨は十六日パンドラ局長を一個を協議し原則大綱を理事會「ハルビン十七日最認識」李 訪問し正副管理局長の同権問

3

日本の社なるに新し政友側の の所別では調策協定内容に就会 では大まかなる基本的無分の では大まかなる基本的無分の の場定の社なるに新し政友側

さ消息組は云ふ、即ち此の會の関係は現在以上に悪化せんの関係は現在以上に悪化せん

四分利公

ふものがわり或は为認に對し

相場を共

基準に

新規公債

んさせば寮職首相民政黨則もんさせば寮職首相民政黨則も

る危まる

八日の理事

ハルビン北鐵交渉

北鐵問題に關

李督辨决意を披瀝

金)

鐵私的交涉

依れば云ふここを聞けば、 ではない、鈴木總裁の談に ではない、鈴木總裁の談に

(東京十六日麓観電) 寮殿首相は十六日午前葉山より輝泉 する處あつたが、鈴木政友會 総裁の意見は首相さの間に大分隔りがあるので第一回會見 に於ては先づ鈴木總裁の意見

政友會も

協調的態度に

指導しその具体的方法を

十七日外務次官々邸で開催

形勢依然たる

會及び稽核節に管理局長の不

首相、總裁

の曾見

協定の必要ありる述べたがその意と、場出、山口兩氏は鈴木

争は新聞さ大分喰違つて居

が唱へられ、先づ備洲は原料が唱へられ、先づ備洲は原料

さの間にも利益の動き矛盾するこのやりに隣然さ日本内地

この方針に従って自己の評勝

計書も樹てわばならぬ

総裁の裁断が却つて政府 ・一説では鳩山 女相1 鈴

三項目を述べる事に決定し関かれた場合は既に堅明の

時より政友會本部に會合し密に関語に就き政友會島田、山定問題に就き政友會島田、山定問題に就き政友會島田、山に問意を表

ある。この根本方針を定める認むさいふ決勝さなつた際で さいふこさは緊急事であつて

に、断規發行会債條件も大最近四分利免債相場の昂騰

土方 日銀總裁談

流に先走る如きは日銀さし るも慎重な態度を以て臨む できて徒に低利金さ稲し時

会債の條件で観るのは間で相当を以て直ちに釈規会行 間隙する筈で何れにしてもは大級常島に日銀の意見を

般行は危険 放任して置せば決して成立たしこの事も各企業家の自由にしか

家が講州ではきんな企業が統一起とわけである。日本の實業

るい菓子を安心して買いる吉

ポに**從はゆもの**あり」さ、 場間すべし 指抗

一方端州山の自釣事無燈で疾

歌迎を受けたもので當日は弱歌迎を受けたもので當日は弱なデスポーク界のために萬丈の氣を吐き、また東京、大阪を始め全國各なデスポープを選じて日诵親なデスポープを選じて日诵親のを受けたもので當日は弱い。 4 トの 徳 市中を 奔走し、たまく、ライトがあるさ思へば前間にあつて後方に無く何にしても遠反行電で新京署保安に於でもこれが取締に非常 滿洲國自動車

日八十月八年八和

るいきになった.

憧れの日本を訪ねた けふ賑やかに歸る ーツ使節 劉房子に

明の匪賊八名侵入せんごすると、おる東韓港段王母方に系統不とある東韓港段王母方に系統不と 明の匪賊八名侵入せんごす

した、彼我さる何感の被害は 二十分にして敵を東方に離退 の警察官さ相協力して受戦、 なかつた

「東京十六日酸湖湖」十四。 一年の他各河一丈縣に增水、川その他各河一丈縣に增水、川その他各河一丈縣に增水、川をの他各河一丈縣に增水、地島の足利。日光等四千戸浸水地の足利。日光等四千戸浸水地の足利。日光等四千戸浸水地の上、長作物の被害。 日本の大泉風雨は鬼怒川。那珂田富の名見込で、長作物の被害。 襲つた暴風雨

W

選手資格

會

. 9

優勝チー

害用に四百萬國を超える見込 東京市の

第一回京

排球選手權大會

年振りの猖

「東京十六日姓記録」最近東京市の傳染病は大正十三年來「中報りの猖獗で今春米一萬五千二日の如きは一日で勝チブス、猖紅熟患者は一十七名と云ふ歌に上り全市百十七名と云ふ歌に上り全市

恒示に從は カフヱーに怖い眼

个後は女給部屋の廣さで 女給を制限するか

ぎれ新京署の酸重なる取締或者が駅京の現在の過渡期にま を無視して 衆の爲には相當

沈

協和會調查班

監察その他を兼ね

けさ新京を出發

一、色燈の使用で照明が一段

閩

さして反日間的暗躍の前衛 されて英臨時政府の細胞原体

日

日

本地方事務局、各地辨事處の 監察、調査或に被問を象ねて 調査班を組織し派遣されるこ でなったが右調査班は北端 では、調査がに対し、 では、 では、 では、 の四班に分れ中ケ

上海漢人青年黨は一黨に指令して念々組織準備に一法兩洲一國の機関を計畫す で全部各特委を一名、省委二 して禰洲共産黨中央委員の名 着手し去る五日上海魔海路湖 洲で活躍した経験あるモスク 意を與へてゐるに拘らず馬耳なほむについては再三再四注 炊事場が不潔で時節柄甚 無許可女給の使用 女給部屋が甚だしく狭く 一つき世川、六南日駐滕調べを日で事實審理を終る見込みに日で事實審理を終る見込みに「東京十六日候國場」五、一

東風で開流して警察者は自己 つて使用人

に従業員の英鹽を合祀する敦敬以歌数工事に於て奪い機

數々の武勳を残し

十回に及び中にも蘇炳文討が、今回の戦争は前後百五

の言葉を述べられた。今回お目にからた話をすることお目にからた話をすること

領州では完全に

服部少將凱旋

驛頭出發に際し語る

より決死除十数名を選技端州るるが、交渉成立次第黨員中るるが、交渉成立次第黨員中

手は乙が爲俄然積が的に伸ば

上海支那抗日國体聯合曾

者を呼出して厳重なる注意を である近く一般カフエー管業 である近く一般カフエー管業 を用ひず従つて女給弾も多部の優遇、清潔等にはてんで敷

汪目すべき

回教徒

五百萬の大同團

何れる狭溢で女給理に實に方針だ、女給部屋の如きは方針だ、女給部屋の如きはがへる でもへーくご聞き流 を制限するかも知れぬ、だ

言語道断なのが澤山ある提 こうして随つて見るさ實に

海軍々法會議

最後公判は十月中旬開催 衆る十月初旬東京に於て開催 奉天居住の回教司祭撥總純氏 を始め全論教徒有力者に宛て

劍聖中山博道氏

敦圖級敷設の

犧牲者忠魂

けふ御前試合 あす全新京と對戦

得道範士一行は十七日午旬九報知新聞社派遣劍道使節中山 土田五段場合の帝明劇 何候一見を賜はり 一於て 軍ご對抗試 電を乗げする筈である **磐湾調査に向ふ吉海職勤沿建** 坂を得て吉會線沿線の全般的 職東軍、大使館、議洲國の支 經吉 十七日午前八時二十分發調査側の奥村國長外十一 一會沿線の 濟調查團 多数後接者の見送りを

領を以て再三番洲肉共産黨組めるに軽み一副一篇主義の綱立は最早や籔然たる事

西藤東軍司令官代理並びに海教政 に輝 瀬の 挨拶 を述べ、 間四号三十分日瀬官氏の歓送 裡に凱旋の途についた。出簽 に先立ち配者の間に申將は、 「悠慰さて別に無いが滅を耳

ナショナルに於ては最近講洲 マに本部を置く第三インター

性者自三十大名を出したこの戦争に参加し、その間様

から喜ぶ。更に牧々をしてが無駄でなかつだここを心が無駄でなかつだここを心

職から引揚けて条で伸び行 るのだつたざ信する、山 を甘電も恥かしめぬ意源な 敵の死命を制し、祖先の名

氣持がする更に私の後任か さか在り、古巣に帰る様な

音兵庫縣知事をして居たこ

陸士時代の同期生である。

衛時代の即馴染でも

赴任する大阪は御棚長に近

ルロンパイン、熱河、北支 関るに在湖十ヶ月東邊道、

満洲國に

伸びる

赤い魔手

されるこさもなつた 高級沿線の明月溝の忠魂碑体 電に接し今朝下観答。 長崎 | 割刑事部長ブリンス氏は朝 件取調べ 1.海工部局刑事 」等の諸氏族に約五百 プリカルディ スを取調べの爲さ て上脚に向つたが右は 徒がありこれ等民族さの **第十六日發過避〕上級工** 如くこの運動の終來に トランク事 るこさきなり、さしづめ大司 花耕作組合別項規則を斬殺す を作るこささなつた。今年度中七縣に十五ヶ所の耕作組合 義縣。錦州、蓋平、海域。建二年度計畫さして遼陽、黒山 指導に専念する輸州網棉化協目標に鋭る輸州網の棉花栽培 後一億二千萬斤の棉花收穫 る棉花會社の設立き別個に棉 ので決定せる棉花腐理機器だ **收穫を目標に** 一億二千萬斤 でけれに開催した理事會

用ぜられるものであるがか 多額に上り開州城紡績利用率斤金額にして約一千余萬圓の は昨年の五百萬斤に對し六割 棉花收穫見込み高二千二百萬 収さなるこころから棉花栽培 亚びに紡績利用率は瀕次増

盟は所屬代緬士を支那に特徴に就会継続せしめ、時島野鴨保に就会継続せしめ、時島野鴨保に就会継続せしめ、時島野鴨保に就会を選るに決し、安選総裁は西下福西方面の實業家で意見を、アク を圖るべく (東京十六日義城鄉) 類民間 士を特派 國同二代議 東京快大、〇〇 ユュース東京後大、〇〇 ユュース 東京中央放送局編輯 東京中央放送局編輯 (日本語) 講師 路事講座 (日本語) 講師公会技 (日本語) 講師公会技 (ス語) 華天後五。〇〇 講演 新京後四、三〇 講演 (編州語) ほ 惟 解 幸天後四。〇〇 商業通信社 調光

阿詳細ハ地方学務所社 系ニッキ飼造合セノコト 優勝チームニ對シテハ新京日日新聞社盃並ニ副賞ラ授與ス **新京日日新聞社。地方事務所社會保宛ノコト** 八月二十三日迄ニメンパー明記ノ上、主將名ヲ以テ申込 西廣場小學校々庭 八月二十四日午後二時地方事務所ニ於テ贈僧。番観抽繁並ニ打合セラナス **各所屬二於テ正選手九名。補欠三名ヲ以テチームヲ組織** 八月二十七日(日)午前九時ョリ

後 援 新京日日新聞社 京体育

行は世三日神戸出産疫閥する。 下東方面に向ふ豫定である。 1 スタール博士

在庫品豐富

運搬力完備

古フレデリック、スタール氏 で発見式は十六日午後二時かの告別式は十六日午後二時か 妹の許に送る質である 可會の下に執行、この日齋縣 し、一部はシャトルに住む今の、遺骨は一部を日本の土さ (東京十六日發級語) 十四日 の告別式 限を極めた。

梨樹の醫師試験 四平街から - 各縣の醫師試験 地行に接

明が出る・・・・・



電長二八八七番

十八日迄但毎日午後七時まで甘栗太郎なればこそ出来得る際でましい単仕振り 配達は迅速に

放送局編輯及プログラム鎌岡 同後七、三〇 同氰象鎌帽

声

F

東京使八、二〇 演藝 東京使八、二〇 時報 東京使八、二〇 時報

けるの銀相場

派出

何本御利用願マス 御一報次第派遣致 が 出 派遣婦 公認松崎派遣婦會 曙町二丁目二七 致シマスカラ 會開業

大洋對 **沙**票 對 金票 満洲ノ曠野ラ完全ニ征服!! 10分2四五

會員募集

| 聖年・安信 | 製法ノ台理化ニョリ酸ノベキ安信同張用ノ煉瓦能ノ牛値優美、高尚 | 幾シリ製をマセマス | 機ク樂シマセマス ◎御一報次第早速所員ヲ御何ヒサセマス 石矢" 新案鐵筋混凝土圍壁

新紫螺錦混凝土團壁製作讀員電話二九九三番 日本橋通新京ピル四階四十一號 石

遠近多少二不拘迅速御用命ニアジャス セメ 瓦 r

四九 の話四三 商 七九 **八九**番

二人の戀に 甘栗大郎の 100女 辛.25 100岁 平,15

栗をむきり

座 栗 太

大和西瓜の特賣

同(朝鮮語)

(露西亜語)

果實部で

で 『フーム、太吉も松麻もよくそれ 要人には、身共も保護あつて目を かけてみる。

新しき店で御滿足に

出來ませんが宜敷し

東三馬路五十四號

左横か。然らば一寸お供待を邦

當店自慢 五色半葉モナカ

(日曜祭日午後休診)

日本橋通電話三七一番

洋雜貨

内科。

小兒科、產婦人科

善生堂醫院

吳

服

正札の『瀬品』大見切

二割引

門司、神戸(大阪)行 本記事網客股備船 (年前十時大連出帆) ないん丸、八月十九日 でこま丸、八月十九日 でにま丸、八月十九日

八月十八日

五秒デ出來ル

新京發賣所

北滿總代理店

新京祝町二

八月廿五日

要問を入ると門等所に、無の太 での實性主題の職へやつて來た。 での實性主題の職へやつて來た。 での情性主題の職へやつて來た。 ギョロリと目を光らせた道十郎 「オ、あつた。あの折は斑点であ った。 其姿を診めた着もあったに のた。 其姿を診めた着もあったに

マヤア大艦の匹那、お待ち申して語と桃臓がみる。

むべし證文の間邍火雕警戒六白の人 定業を大切き闘

止道を守り直進すべ

未三庚三戌が吉

造製合組産水魚白江緑鴨

任すが安全新計勘は失敗す に取るべき物も取れざる日一白の人 決断力を失ひ手 廻り來るべし

朝內支本

守るべし口舌事論に注意線の人 自己の分限を堅

認公

産

日八十月八 日七廿月六舊

金

融 切 預

行

三笠町三丁目八番地 確實な地 場

京

九〇四三 四三

鲜、篆山、大邱。仁川、平壤。鎭南浦。元山、群山、木浦。清津。峨、東京、大阪、大阪西區、神戸、下闢中、出張所、 中、出張所

落床在

富

新京一のニンキは

新京の青柳

チを有す ツネに新京一のカ

調味卓越

鰻かばやき

明すき烹

清特最 酒等上木醬白 炭油米

个 田間間話



自八 至八月二十一 月 + 日 Ħ 五 H 間

六術表 特 場

所 秋冬物持越品全部を提供しての大奉仕!! 新京太子堂

前布地豊富人荷

眞善美を誇る

國都の實現も間近に迫つた感じを與へてゐる設局本年度計畫も七分通りを完了し眞善美を誇る新新國都建設事業も最近おいく~進捗した、今では建 見よ、 目覺しい工事の進捗 九、史**等の**教領案 七、登記職員の訓練案

土地拂下げも續々完了して

完成に向つて躍進

競したが、一行の調査事項は を行ふ奥村義信氏を顧長さす を行ふ奥村義信氏を顧長さす を開査部一行は今朝八時三十 の最初の調査地敦化に向け出

調査分擔

環が經濟案内所調是與村義 1、取引慣習その他一般概況 五、輸出質 京地方事

、11月3日を育るの ・11月3日を育るの ・1月3日を育るの ・1月3日には新鮮さの ・1月3日を育るの ・1月3日 完成する豫室で、奥安大路を中心さする建築工事は今や最成明にあた、現在四千五百臺のの馬車にては判底底知らずのの馬車にては判底底知らずのの馬車にでは判底底知らずのの馬車にでは判底を対している。

政友の大勢

現內閣支持

政策協定も融通性あるものに

現困離であるばかりでなく、

小河臺へが河臺山の軽銀元成を開発建設局でパラス不足を補みべく建設工事を急いで居たり完成。

打し、大同街興安大路一帶の一帶も十月末辺には配水設備を ある工事計畫もこれに附隨して準 未大同街東側、執政府西北 パラに蔵製、互射施設及び上下水道 り開始、與安大路南側は九月 完成、市街地建設工事の推捗に伴び 上水道の配水は既に七月末よ 小河 工事も目醒ましい

新溜地も既に蓄水を完了一端りを完了した整層地大同公園の工事も「隣々たる水をたらへ、ことに

申譯的なもの

氏は第四課附を命ぜられた第四課附に

職さ言はず政府さ言は本小自分は現下の威離打闘に政権を認いなさばないさ信する

ソ聯の態度軟化

北鐵交涉漸次好轉

金留對圓の換算率協定にも

遂に應諾を回答

志村參謀

要であるさしても鈴木政友會若し假りに今日観策の樹立が

一自体 一事である。

な態度を執つてゐるさ観られ を問題で鈴木總裁さの意中に 定問題で鈴木總裁さの意中に

問題の純緯につき

議案續々可決 司法官會議第三日

香膳したの八案を可決して散(ち)日本、留恩生を派遣する受員會に上程された調案を所、設置する事のでは、十七日は前日の審(4)本年 B中に司法官養成の方に日全領司法督翻第三日は「二、司法官の訓練案(其の方

出來得る限り即位を保證す

学生の就職 100円青年漂然さ社を訪ねた 100円 青年漂然さ社を訪ねた 100円 青年漂然さ社を訪ねた 100円 高年漂然さ社を訪ねた 100円 高年漂然さ社を訪ねた

大學々生さある、記者は就職大學々生さある、記者は就職大學々生さある、記者は就職者望者にしてOO大學々生の理由をたてしたる族、彼の青年。學生

る、 駅くの如くにして得た卒

間番が果して幾何の價値

その間何等の喰進ひも無く

軽を得た上鈴木總裁に對し相に政友さの協定を說き諒

大同一 総行に協力 総行に協力

り果して何の用をつさむるものであるか斯の如う不真前目なる青牛の報出こそ昭和日本の私の不真前目を融しおきたるが数壇に立つ人々に勤しその根膜の除去につさむべきであることを切言せざっを掛ないのである(古別級)

在滿朝鮮同胞 の重要性 (四)

所でこのたびの漢州事變が にか、さ考へてみまする、先 なる思想を抱いてをつた人々 なる思想を抱いてをつた人々 なる思想を抱いてをつた人々

て成は用品に、成は西の方鴨 特徴れな 敗慘者である。鮮 内で暮しが出來ないで、國境 外に流れて行くのであるさの

が事變像に於ける講洲移

の機性者であるさ目されての機性者であるさ目されての機性者であるさ目されての様式には、あれ見になっての機性者であるさ目されての様性者であるさ目されて

り、同鮮した者も和當ありま でをる東邊道等に於ける治安 の狀態その他色々の輸係もあ を見ますさ出入を参引きますすため。最近一ク年間の状態

来ようこの気分を抱く者も新 てそれを眺め、又論洲に出て

はすさ、現在の所から観験し いますさ、現在の所から観験し

計調査等に對する諮問に答

經濟建設の第一步

日滿實業協會

今次の懇談會の所産として

まづ發起委員會生る

もないのであります所謂在領 さ鮮門から多数の者が調剤に 入り込む事實は中の所左程で 入り込む事質は中の所左程で 柄から、移民ごいふやうな感

でありますが.

員會は影闘の結果次の如き成役也委員會を設置したが該委員會を設置したが該委

薬協會を設立すべしこの動語

この設立準備のため結

運河開鑿航行

關係の諸法規

近く法制局へ廻附

實行方法决定機關

であっても之を具体的に協定するさ云ふ事であつては其の内容に於ては勿論の事手側に於てはの論の事手側に対しても乗組がしてるないやうだから 世紀中国 立ちらのではないか、若し實現するさしないか、若し實現するさしな中間ののものに終りを告けるのではないかさ現在の所録

何等意見の

打開に當るさぎふのだ

實業懇談曾

喰違ひはない

鳩山文相は語る

を取上けるでなく大所高所か を取上けるでなく大所高所か

國策協定成立後の

協定成立した後質け方法に就ての問題が起つた場合には必ず此問題が具体化する後で方法を考究、實施の関資を引すべきださの意見さ、設策審議會をつけて廣聯首相を會長さしめ實行の與滑を削すべきださの意見さ、設策審議會をつけて廣聯首相を會長さらめて行の與滑を削すべきださの意見さ、設策審議會をつけて廣聯首相を會長さらが、政府の一部に終ては此の總策の會見によつて進展を見るものさ観られてるるが、政府の一部に終ては此の總策の會見によって進展を見るものさ観られてるるが、政府の一部に終ては此の總策の書見によって進展を見るものを観信を選出した場合には必ず此問題が具体化する

存の關係を緊密ならしむる。連絡制を保も兩國相互依確等に始終

新設さる

鎌舎期間か切れるのだが超何なる政策をごるべきか

北満小麥は 二割以上增收 その他特産も豊作

職係者を以つて組織する ・組織 日浦州辺に於ける ・組織 日浦州辺に於ける 商工會關所。支所を大連に 事務所 本部を東京日本 役員 會是一、剛會是一

を見越し難でより具体案につき考究中であつたが最近成実を見越し難でより具体案につきる対抗ハルビンでの具体化に努めつつあるに低の交通部に終ては右選河開め、航行に儲する法規の必要を見越し難でより具体案につきる光中であつたが最近成実 を得たので近く法制局に調附を得たので近く法制局に調附

福洲殿財政部では新京教者の を以て警工、本学中に完成す を以て警工、本学中に完成す を以て警工、本学中に完成す を以て警工、本学中に完成す を以て警工、本学中に完成す を以て警工、本学中に完成す

公布 屠獸法近く

居場伝の起草を急いでるたが ・全且つ作業の圓滑を明すべく ・全且つ作業の圓滑を明すべく ・会里の原業の圓滑を明すべく ・会理の原業の圓滑を明すべく 府南會議を輕て致令を以て公職中であるが近く顕務、参請

位まで割留られる見込みであった。 アムは平均市園で四関七十銭 アムは平均市園で四関七十銭

往

びの職を対し、地力委員場合會及会職を対し、地力委員場合會及

天氣を氣溫

(東京十七日發國通)第三次北鐵中間會商は十七日午前十時より開會し大橋、カズ (東京十七日發國通)第三次北鐵中間會商は十七日午前十時より開會し大橋、カズ (東京十七日發國通)第三次北鐵中間會商は十七日午前十時より開會し大橋、カズ (東京十七日發國通)第三次北鐵中間會商は十七日午前十時より開會し大橋、カズ (東京十七日發國通)第三次北鐵中間會商は十七日午前十時より開會し大橋、カズ 156 北鐵交渉は漸次好轉して來て居る サンの天氣東の風暗酸明模様

古馬に劣るので、朝鮮總督る事になる之何うしても崇

業振興上商業學校に於て

四、馬校職員及び生徒をしてからしむること

散骨。南嶺の戦跡見學を行つ中後は引鞭き會制に入り四時

列車から墜火 ・ 一五ヶ午前八時頃吉長線土門 樹西方三粁の地點を列車が進 ・ ので到車より墜落重傷を負っ たので直ちに新京浦銀病院に 入院せしめたが豫に同日夕剥 ・ 入院せしめたが豫に同日夕剥

の新朝鮮産馬を作り出すの

一實用一

答申案 め教育上左の事項に留意する事を要す

行、執政府を訪問、午後一時の財務院に郷總理を訪問後。

を引くさか力仕事に使用すのが欠點です從て騎馬用に

足が弱く、耐久力に乏しい飲活で一時的の力はあるが

実學校長州余名出席、先づ東堂に於て開催され、全域各商一堂に於て開催され、全域各商一堂に於るの業學校講

二、教育科目に爾洲科を加股や第一層の努力を爲す事

三、安那語を必須課目さする

洲醫大の三浦連一博士及び安長戸田正1博士が一昨十六日曜

敦化に向け出酸の筈である

滿電社員

一行顏觸

配者と矮脂にして敏捷隼のか

商業校長曾議

昨日から新京で開く

着々新施夷渉してゐるが移民 朝保雷局の具体的指導の下に 著々新施夷渉してゐるが移民 可否の先决的問題で云ふべき 移民衛生及び生活漢式に就き 本だ科學的研究が行はれてゐ

災厄に遭ひ。日下領域病院へ競馬界親祭の爲來京。不慮の都の輸出清水英男氏は磯洲の

の用方をやる事でなつた様に真ぶべき事です。頻幸競馬に真ぶべき事です。又奉天に真ぶべき事です。又奉天

がかっているので、今年は到 がつてるるので、今年は到 がのであるので、今年は到

コード保持者をして知

され、専ら紳士競馬を行ふれ、専ら紳士競馬を行ふれ、事ら神士競馬場が新設とれるされるがなか く旨に常つてゐる様です今度ハンピンに観察競馬場が新設

ですがそうなれば解來備刑ですがそうなれば解來備刑

殆んご眼境警察隊の配備を完備刑國を境の主要叫には既に

段北野椒男。原亨。中村女雄就司、精鍊就佐々木二期、四數士中川善道、精鍊九段土田數士中川善道、精鍊九段土田

是非一のたいので

256000

満洲移民地の

衞生對策研究

戸田三浦兩博士が

京久男。[三受鏑木正明、岩本忠亮、若林正二]。精鍊瞪山本忠亮、若林正二]。精鍊瞪山本

七時五十九分 本時○○○分 本時○○○分 本時三十五分

セメ

瓦

一時 十四分

遠近多少二不拘迅速御用命ニ應ジマス

九

四三七九

六四

近く現地を視察へ出發

現地視察を行ひ、日本人に適民可能地たる吉敦線附近及び民可能地たる吉敦線附近及び

拓務省出張所及び岡洲観常局事ごなり、目下闢東軍特務部

る生活様式を研究考案する

現朝鮮小南俱樂

新京に來た清水氏

ぜひ満洲で一働きしたいと

滿洲國々

される調査員の歸任を待つてに願しては近く同司より派遣

前朝鮮經由歸國の豫定である 面を歴訪使命の傳選をなし陸

戰死

越野軍曹

了へ旅順大連に赴き順係各立み十九日は要人訪問右日程を

决定を見る筈であるが古北口

中山範士は富士屋旅館であるなほ一行の宿舎は協和版館

一行の氏名はたの頭り

軍酒保支配人

不正行為暴露

奉天憲兵隊の活動

九時五十五分 | 特〇〇〇分

在庫品豐富

運搬力完備

電話 二七八四番

境警察隊 近く配備完了

満鐵病院で語る

病める名騎手

田午前八時三十分被吉林を視察。同夜新京に歸着。二十日祭。同夜新京に歸着。二十日祭。同夜新京に歸着。二十日祭。同夜新京に歸着。二十日の北下奉天。撫順。旅順。大連を視察する筈である

置に決定、直ちに開設に着手 あ司に於ては調査員の報告に 務司に於ては調査員の報告に を発う思河・成務等祭職を先づ段

主催の歓迎等(た大陸春)に臨めの歌迎等(た大陸春)に臨るを開発を表現の歌迎等(た大陸春)に臨

の諸氏

元日系官吏が 辻强盜

恋嘆に暮る、新婚の妻

新婚の夢る はかなく何故に彼は新くおしそれた 何と にふ運命の悪戯

罪を犯かしたか、彼が踏み來し舗道の異に潜む云ひ知れぬ 悲劇は途 に彼をして卵人の螺鏡につながしめたのだ、思ひ掛けない失職。可 常然階むであらう島の罪の一途を辿つたのである 生活の悩みをニッルの苦悩の深淵に溺れた彼は弱

し出した素晴しい新京の最氣 類の斡旋で講洲網被服敵に入 類の斡旋で講洲網被服敵に入 り、そして明るい希望に燃え た官史生活の第一歩を踏み出 したのである内地にあつてこ の喜びは一通りでなく輝かし の喜びは一通りでなく輝かし の喜びは一通りでなく輝かし の來らのをごんなに待ちこかない、その通知に接した彼は 望の的さなり、娘特つ親は皆にあつて親類友人、村民の羨 親の下に申込む結婚は歌限り一様に嫁にやるならさ彼の兩 865

とうして某知名士の媒的によって大分縣某郡の遠縁に當たる松井ョシ子(111)=||仮名=

手は何時の間にか彼等の二人稲を羨む悪戯なる運命の魔の つたが神ならぬ彼等は知る の様な天記であつた、然し環ーケ月餘は二人に取つては夢 もなく最大幸福感に微笑して

あまりの突然さに失いせんば 何んさいふ運命の戯れか彼は いない。 して見る言樂然某科長よりのめを受け朗らかな氣持で出動

五日吉田が新京署に逮捕されて日吉田が新京署に逮捕されて自分の夫の罪を知り保官の前もはばからずさ 五日吉田が駅京署に逮捕され何が彼を邪道に導いたか?十

間き訊しました歳、 講光はの洋服のボクットに 拳銃のですから…… 九日主人の神服のボクットに 拳銃

果して彼女は教はれるである

主人には面會せぬ方が良い

き道をごう選ぶか未だ確かるもなく其れこのみ信じてる

たなれば斯(の如き悲劇は生

の態度でもなく役所の話をせんでした。別に怪しむ程本ので何の疑念も起しま来ので何の疑念も起しまれてした。別に怪しむ程

大の幸福である、新婚生活に大の幸福である、新婚生活に大の幸福である、新婚生活に大の幸福である。 新婚生活に 泣き崩るへ新妻

夫は何時もさ何の變りも

爾賓に居る兄さる相談した

葉荒く質問したのである。** 様に自宅へご歸つた **耐職する事を契いうつろな氣** 品並に金銭上の問題の爲で止っぴきならは某商人での納入 ひ浮べ再び嘆願して見たがの し其の瞬間彼は我家にあつて 人淋しく自分の歸りを待つ あるいさしい妻の何影を思

多をねり何さかして更生したい 如く出動をよそつて自宅を 叉内地の哺親親類が知つたら

て、これが打開けられ機自分 て臭れた妻を見た時にさ たのである。

料をかせいで居たものである
て市内各所に現はれ妻への給
に登るしい辻鬘姿まし な舌によつて悪へ轉向した彼 も親切氣に話かけた一人の男 給料日を選び來たので焦燥に 流れる月日は遂に二十五日の い胸を押へて平氣を装つてる ~を重ねて、 居た折如何に

陸相から感 得たが多数の敵に包圍る

省宛 透附したので荒木陸軍大 を著員より若干の醵出をなし を著員より若干の醵出をなし **感謝狀を送附して來た** ・ 臣の名を以で十七日左の如き 新京署へ宛て

せられ爲に皇軍の志氣を振り兵器其の他を陸軍に獻納を以て進んで總愛観の熱誠を以て進んで總 でするさころ大なるものあ

一人の將來はご

つなる?

れば明白に其れに答へ

茲に其の誠意に對し衷心よ 専6氏の長き終験で深き経験 さによりて得たる正しき配音 的に系統的に詳細なり 的に系統的に詳細なり

が続ての成り行きを妻に打人さなり得るであらうか、彼

朝けて更生の方法を新に講す

るだけの勇氣さ決断力があ

るは勿論高級の研究者にき

新京警察署長高山海司殿昭和八年七月三十日 昭和八年七月三十日 荒木貞夫

るに幾多のヒントを與へ大

二
开
社
員 殺害犯人 南天合の一味 万の歓迎を博しつもあり、

七日まで綴く筈である

「スルピン十七日産國通」 既将三井物産社員山口氏保設事件の下手人は其の侵害局の担合に依り、松花江耐岸に帰居市る匪賊南天合の一味なるこ前く判明したが、新くて犯人標査の範囲は次第に映める 列車時刻

ルビン某所人電に依れば佳木一れつくある

五·诗四十五分 五·诗四十五分 九時 十分

さ出掛けるもうだ、何處で何ひくの男き遅れだつて散步 ファン連中少々悲報 は病まねばなら

北寧線の

び料金方の加し海獺間北寧線刘車穀署時刻及 復後始めて帰縄した天津、山〔天津十七日發出通〕平和克

ーさんさえ見れば、モーさんに少々木の字らしい を頂戴さなかく熱心だ。

▲精養軒い千鳥、某所の▲ いだせ

御料理

屬產

新京朝日通十九番地 (簡単館地)

或 都 殿四

本家來滿す

満洲國の資源開發に

四八八四〇

く 勇者、技術家等の経濟 さなつた横洲観の資源は近漸 建總以來今日までの資源調査

日禰資本のみならず城県的日禰資本のみならず城県的れて資本

してゐるが同氏は語る

同地で日下各関係方面を奔走の上路の

資業家ドフレン、ド・ラ、シュ 家の有力なる質業家が来端し た、即ちベルギーの著名なる

ならば將來この

5

禁子を安心

いして買べる店

(甲子園十七日酸園通) 全樹中京四回に一點を先取すれば 時五分中京の先攻にて、開始 時五分中京の先攻にて、開始 中京四回に一點を先取すれば

全國中等野球 中京勝つ

清淨

親

切

可

日本總領事館

電話四八三七番館主小林竹次

人出頭相成度し 校正係員募集

典に去る九日屯

資格 專門學校卒業程度。年齡二十五歲以下 午後一時より同四時までに

新京日日新聞社

進展につれ事件は意外な方向に飛火するものき観られてる

中京の勝利に歸した閉戦十一一點を入れて結局三十二にて 時二十五分。スコアー左の如

新一人者である事は願知のこ 第一人者である事は願知のこ 第一人者である事は願知のこ 第一人者である事は願知のこ (甲子園十七日愛劇媚至報)

満洲語の

發音講習會

なかく盛况

本社直營新京文部

攻で開始され。明石終始優勢 業の試合は零時一分明石の先 の試合は零時一分明石の先

Bした、閉戦二時六分、スコで得點を重ね結局十對等で大

一左の如し

內科 小兒科 外科

皮梅科

產婦人科

平安大勝

一、地方駐在 五名(確定給)

一、年齢 廿七才ヨリ四十五才中等以上へ教育者 一、人計手續完了者へ當日ヨリ支給活躍で、入計手續完了者へ當日ヨリ支給活躍で、地方駐在社員へ赴任實費支給ス

監督社員招聘

たが見物のかながい場合に関

日夜彼氏!ご長春座に來て居一てな!▲銀崖のアクモ、十六

岡崎田、

列し一貫御挨拶を申述べる機 高りまして私もが其の末間に 法會籍の開會に

できを拜察し感佩に堪へわ次をもれたもの亦の此點に在る留つて語誤なからんここを期間のではいい。 位が作秋第一回の會闘を開催 **もこさは~に司法の運用如何** 主道樂土建設の保障た6しむ 例へば法典編纂の事業の如き は其の一例であります。思ふ に良い法典は机上概念を組み 立つるのみでは出來ません客 翻的安富性を有する慣習の發 見調査事件、事件に對する裁 利官の適正且つ指導的なる判 列の集成等が法典編纂の事業の如き くの問題を持つて畏ります。のであります。司法行政の方のであります。司法行政の方のに於ても吾人は爲すべき多 はいる。 であります。 今や司 のであります。 今や司 のが、警察機関の完備さ共 のが、という。 のであります。 のでありながながればならぬ。 のでありながながながながない。 のでありながながない。 のでありながながない。 のでありながない。 のでありない。 のでない。 のでな。 のでない。 のでない。 のでない。 田中夫人、荒木すえ、鬼塚ふ

にかかる次第さ存じます。

ここを痛感し其の成果に大なせられたここの大に意義有るは自動が炎暑を胃かして開催 電展を特望せられて居ります 業は内外の刮日程に急速なる 単の大事を増進等の大事 え子、川越ふさ子。『一十五人、羽根夫人、浦江五十子、「前式五十子、 さ子。桂はる子、岡田夫人、緑いろ、松尾あきの、長塚いみよ、宗像郎、高平えい、近 (保安區) 藤田夫人、主川夫

| 一口 | 法の作用さして

ります、荷も不正不軽の事有
ります、荷も不正不軽の事有

松永夫人。小野瀨夫人。橫山夫人 人、作野夫人、香取夫人、蘭野夫(婦國病院)家本夫人、蘭野夫 會社)宮野タミチ 西垣夫人

日

村 は 同時に犯人をして自己のれて同時に犯人をして自己の

きに出するこさを知らしめ、

一の緊急事でありませう。ここに依りまして進法の精神を振性し悪念を鎭壓するここは勇力の緊急を強壓するここは勇力の緊急を強壓することは勇力の緊急を強慢を振いたがある。

京

前川。島野 、碇靖子、進藤カワチ、立川、藤田シゲ代、片岡朝川、藤田シゲ代、片岡朝 何野スイチ、馬場 結案 五十銭、古道 七十銭 ・ 本同二圓、一頭、 京崎 一圓、 寺 ・ 本同二圓、一頭、 京崎 一圓、 寺 ・ 本同二圓、一頭、 京崎 一圓、 寺 ・ 本同二圓、一頭、 京崎 一圓、 森 ・ 本同二圓、八千代館二十圓、 九 ・ 本同二圓、 八千代館二十圓、 九 関、竹屋一関、フウエツレヨン十 赤外一関、アウエツレヨン十 清久二関、西脇洋廿一関、みし 美一圓、花菱一圓、大作一圓, 所五圓、一力二十圓、安岡勝 盛倉洋行二圓、松田洋服店一森履物作一圓、北原度三圓、

は民事方面の司法作用に俟た は民事方面の司法作用に俟た は民事方面の司法作用に俟た

(受付順)野村茂姓。堀江茂 (受付順)野村茂姓。堀江茂 (受付順)野村茂姓。堀江茂 (受付順)野村茂姓。堀江茂 (受付順)野村茂姓。堀江茂 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑北 (受付順)野村茂姓。畑江茂 (受付順)野村茂姓。田江茂 (受付順)野村、田江茂 (受付明)野村、田江茂 (受付明)田田茂 (受付明

田心 人民であります

(=)

中山夫人、

| 青木乙次→□| | 青木乙次→□| | 青木乙次→□| | 西村近。本夕キー園、西村近。

ᡑ九十百八千三第

同。齊藤夫人。河崎夫人。橙見同。小寺同、松尾同、山崎村、下茂僧田同、是澤同、竹本同、伏僧田同、北京門、松尾同、山崎 原夫人。淺沼夫人。大內夫人民,前川夫人。大林夫人。有明夫人。大林夫人。有明夫人。阿佛夫民,所以是一人。阿佛夫民,以是一人。此是人,以是一人。 夫人。奥田夫人。青木夫人。 小崎夫人。小見山夫人。阿部根占夫人。枯木夫人、松尾 人、北門夫人、渡邊夫人、長道鍋夫人、隴川夫人、神谷夫 百十六名約二

龍谷夫人一日。 京日日新的社十圓。田中キフ 京日日新的社十圓。田中キフ 田花輪、有久開谷。高山夫人公本渡邊、大久保各夫人、原二十圓、栗原林出、川口工中二十圓、栗原林出、川口工中二十圓、栗原林出、川口工中。 十圓、大禰潔新聞社十圓、新京日報社が登社一同三圓、新京日報社が京日報社 五圓、植村夫人三圓、岡本サー圓、片測カッ十圓、膝井勝子

市川

安んじて裁判に服せしめ、懺序を紊るかを納せしめまして序を紊るかを納せしめまして

慰問品寄贈

(物口田) 著、雜誌等)

治に協ふ所さ云ふべきであり むるものでありまして王道政

新門二師雄。大和ホテル 京子、安本キョ子、萩原準。 京本・東京・東京連。 テッチ、谷口、小林泰、杉山 大、大社ユリチ、周子、山本 デ、片瀬晋、代表者柏本キョ 大・佐藤幸子、女學校 窓生 長崎千代、鈴木キョ子、中島 *調夫人、脇ベハルエ、重 高野一圓、田毎二圓、日出內高野一圓、市場食堂孔間、寝本店パン店二圓、松代尹三一厘、清量五圓、岡女庵一圓、條時一圓、山下殿蔵二圓、松代尹三一四、山門、山下殿蔵二圓、松本理髮店五十錢。 大西多吉一圓、近際吳服店五十錢。 大西多吉一圓、古本夫人一圓、十四十分十五十錢。 林シゾ子三順、吉本夫人一圓、三浦夫人一圓、早田公子二圓、三浦夫人一圓、高野 一圓、三浦夫人一圓、高野 一圓、 前出伊織五圓、菅野賀店二圓堀越一圓、松本ミよ子五圓

十錢。北村一圓。安聯一根占夫人一圓。川端一圓五 根占夫人一圓,川端 一圓五十圓。

#ヨシチー園、藤井ユウー園 城シオー園、宇戸修次郎三園 州フマ三園、出島夫人二園 十二百六十一 園三十

コイ赤ハムタコヒアスヒボ エセ ラ ラ ラ ビエエゼラウチメジキス製 ド大八一二二二二二四一 〇五七大六二六六四六〇四

相湯

公主堂

初京梅ケ枝町四丁目二番地

科専門

為河

日本福通リ

ジワナエ ョ / レ ハー は ピゴピコカリグシライバラベ 九一 「四 - 四三三三二四 - 七五〇등 1 七七一五〇〇四〇七

廣告の 院長醫學博士 御用 電話三三〇〇番へ 話二七〇三番

8 旗 裝飾材料 幕 式製作 RHHOHHH 造花 遠 東 公 寓內



でルを扱いた土官たち、一般を突つける雑兵たち、それを登録した土官たち、それ地かるく、がん様の光がば、地かるく、がん様の光がば、いたの方。

ゆるしてやつ

草履のシーズンは 小林の履物は皆様の 御手許へ参るべく 最新流行の御履物が 澤山参りました

れ尚

ても宜敷ラムいます

のか、なるほどあの動すごい気が 一かってまを、意に介せず、よた」び 一番をくまうといふおれの冷酷さを でしまっている。だが、お愛……」

第百二十八口

柾

容

さ用右

いのー

部か葉書にて左記に申込み下唯實に取扱ひ致しますから**御**収及配達

阿

設

長二〇三六番

百金物店

中央通十一番地

口

扱を扱い

左記取

工學士

中福前

野島田

出前迅速に致します

三四四五

ごんぶり

倍舊の 朝日タクシ 御引立を願ひます 名

富士タクシー

かる

用の節は是非

電話三二九五

司公車動自日朝

12

目丁三町士富京新

滿

工事指

指

西水兵たちは、徒らにわめ

やつと、酒杯を傾けた。

時間の御都合は御便宜計ります

哥

所

法律顧問及鑑定

諸契約書の作成

富豐庫在

日本

プ

松下配線器具

岡

田

電

池

池

Y

田

ベ

ツダ眞空管

古

河

森 式 外 燈

電

律事務所

あなたが、あんまり

はさらいふ女が、なるほど。おまへはさらいふ女が、なるほど、漁のの場合にてやつた。あの着谷に、のはとおまへは同情しいたいの

ざうぞよろしく

御影石軍廳及滿鐵工事課の賞讃を博せし **戦山大和町** 大和町一丁目九八二 期日正確 — 僧 賣

光澤を有す特別長大物直經六七尺、長四、五十尺火熱寒氣に絕大の耐久力を有し磨けば大理石以上の 取次 新京日本橋通七八 價格低小 三二 組



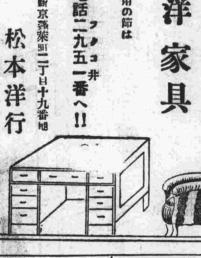
匪の討伐 學に殲滅 共富 福 田 支 MILLEN

への番店 室內裝飾品 和 洋

代理店

新京日本橘通

電話二九五一番へ!! 家具



四幽 腔外科 早

京日本橋通 一般之一一种一种 Zibrestrietenen ibrititionin interestriction in fame の御 重衡 各種物 是 一种 全物 不可用 金物 用は何 でも揃

陶・打追金 番 ス 及 物 式 類 類 類 物 式 類

2 店

店會會

屋古 河 電電

荷運輸 井本運送店支店

引建海

樂材。陸



The statement of the st 自 炭石 榕 電話二五三七番 茂 洋 行